

# 鳴門観潮

## の葉



國津橋畔  
攝陽商船

昭和八年四月四日  
由設取業許可

### 一、日 歸 り (洲本急行船利用)

往 路 午前八時三十分兵庫突堤發優秀純客船此花丸に御乗船……  
八時 天 保 山 發優秀純客船天女丸

同十時三十分洲本着——洲本より陸路福良へ(自動車又は汽車で)  
福良から觀潮船であこがれの觀潮に……

復 路 觀潮後洲本へ引返し、洲本午後五時五十分發此花丸へ御乗船午後  
六時 發天女丸

八時三十分 兵庫棧橋着  
樂港棧橋着

御注意 御承知でもありませうけれど鳴門觀潮は潮時がありますので次の行程を御利  
用せられる場合亦便さする時があります

### 二、一夜船中泊り

往 路 天保山夜十一時(兵庫午前一時)發の汽船にお乗りになれば翌朝七  
時半頃福良へ着—福良から觀潮船で渦の巻く鳴門岬へ

復 路 日歸り便に比し時間の餘裕が充分ありますから福良、洲本の名勝  
舊蹟(福良では淳仁天皇御陵、竹島、眺望佳絶の遊園地等、洲本では三熊  
山、大濱公園、洲本城跡、古茂江等)を探勝し洲本發午後五時五十分  
の此花丸に御乗船—午後 七時五十分兵庫棧橋へ歸着  
八時二十分樂港棧橋へ歸着

### 費 用

一、個人クーポン式觀潮券 (鐵道、自動車何れも御隨意)	金三圓也
一、團體觀潮券 (鐵道に限る)	
二十人以上	二圓七十錢
五十人以上	二圓四十錢
百人以上	二圓二十錢
二百人以上	二圓

何れも自四月一日至十月末日。  
御注意 觀潮には必ず潮時を弊社迄御問合せ下さい。

## 概

皆様！ 打揃つて鳴門観潮を致しませう！。

日歸りの鳴門観潮に！

一汐に月引き落す鳴門かな

芭蕉

壯絶、偉觀の鳴門は全く筆舌の及ばぬ處です。

京阪神の誰方も、「阿波の鳴門」の名稱がありますので鳴門観潮は阿波の國からでない——とお思ひでせうが決してさうではなく交通網の發達した今日は淡路の國か

ら容易に観潮が出来るのであります。「淡路の鳴門」こそ「阿波の鳴門」に相對する名稱で往時の文献にも多く記録されて居り、亦、

「文化七年幕府の御城米積み船—大阪河内家仁兵衛の船が鳴門の中潮で難波した、その時漁師達は幕府の御城米だこ恐れて近寄らなかつたがいろ／＼詮議して阿那賀（淡路の國三原郡）から御用船を出して始末をしたこゝがある、これを見ても淡路の鳴門いふこゝがわかるだらう」（鳴門の主仲野水産翁談）

—大阪毎日新聞昭和九年三月十八日十一頁特輯グラフ掲載—

以上でも充分理解出来るのであります。

観潮は心配無用

御心配なくぎし／＼お出でなさい 鳴門を見ずに絶景を語る資格はありません  
ヨナニ命は大丈夫でサー古來の鳴門文献を見てふるひあがるなご氣の小さ  
いこゝはお止めなさい、鳴門の潮筋で生きた鯛の洗ひでも食べるこ臆病者に  
も長命の導きにもなりますヨ、（観潮客案内者福良—守本一郎翁談）

—右同紙上ヨリ—

特に今春よりのクーボン式鳴門観潮遊覽券は手数なく京阪神地方より大阪灣を突切り淡路島を縦貫し（汽車に依るも隨意）観潮船に乗るので樂に日歸へりが出來ます。